

会報順番番号Ⅳ-22

村松 宏剛

電気電子部門

所属 ビーム計画設計株式会社

交通安全半世紀ボランティア活動

1、はじめに

交通戦争という言葉は昭和 34 年に交通事故死亡者が一万人を超えた頃から始まったと記憶しています。

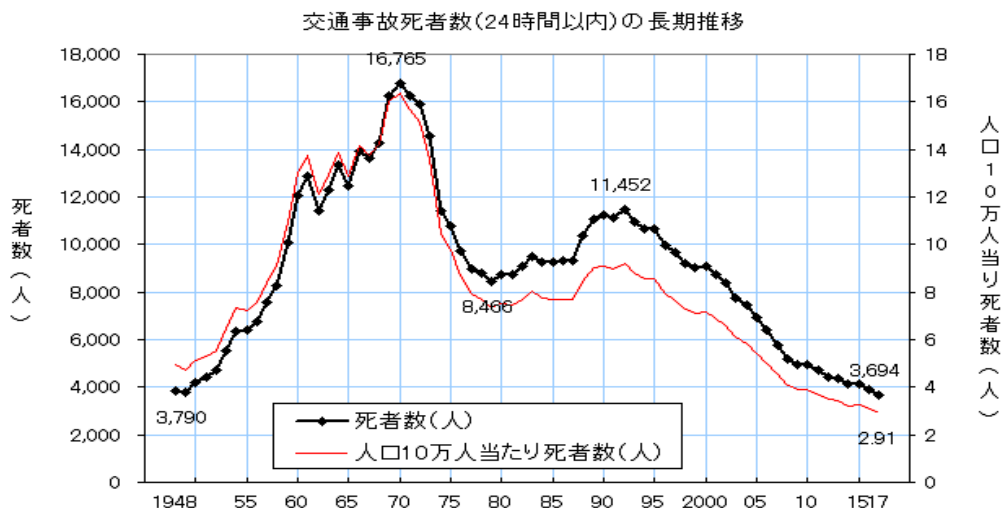
私はモーターリゼーションに中学生の頃から興味があり、14 歳で原動機付自転車許可証（今の原付免許）を取得、その後軽四輪免許、普通免許（自動二輪大型）、大型免許までは公安委員会でいわゆる一発受験で取得、大型特殊免許は数時間の教習所通いをして取得、古希を超えた現在（74 歳）でも保有しています。

きっかけは、昭和 40 年ごろに父（24 年前に逝去）が交通安全協会のボランティアをしており、私が 20 歳の時この活動に引き込まれました。

それ以来、半世紀以上に亘り住居である東京都日野市の交通安全協会のボランティア活動をして参りましたので、皆様の交通安全の一助にして頂いたら幸いです。

2、交通事故死亡者数の推移

統計ではグラフに示すように、1948 年から 2017 年までを表しています、1970 年には 16,765 人のピークでその後減少し 2017 年は 4000 人を下回りましたが、最近悲惨な交通事故が多発しており、ニュースを見るたび心が痛みます。



(注)1971 年までは、沖縄県を含まない。数値表記はピーク・ボトム時、及び最新年
2017 年の発生件数及び負傷者数は、交通事故日報集計システムにより集計された概数である。
(資料)警察庁「平成29年中の交通事故死者数について」

[日本技術士会岐阜支部 会報の情報連絡先]

〒509-0108 各務原市須衛町1-179-1 テクノプラザ5F
TEL : 0583-79-0580 FAX : 0583-85-4316 Email: gcea9901@ybb.ne.jp

日本技術士会 岐阜支部 会報

2019. 6. 4

3、日野交通安全協会の概要

小生の記憶では、1965年頃の交通安全協会という組織は地域の警察署単位で設立され殆どがボランティア活動として実施されています。

所属は東京都の日野警察署管内の日野地区交通安全協会他に多摩地区交通安全協会が同一警察署に属していました。

現在は多摩市に警察署が設立されて別々の交通安全協会となり、日野交通安全協会（会員数は約850名）となっています。

1965年の日野市の人口は68,000人、現在は190,000人と2.8倍となりました。

現在の組織は会長以下10の部会があり、小生はその一つの地域部会の9支部の一つの支部（いわゆる末端）で副支部長兼事務局として活動をしています。

制服等については本部から支給されますが、予算の関係で新役員の制服（夏、冬、雨衣、他）配布には3年程度要します。

現在所属している支部は市内の11丁が担当エリアで人口約15,500名、役員は総勢12名で、会員は約100名です。会費と本部補助金で運用し、役員は無給で交通通信費は持ち出し、ボランティアで信条は「1件でも交通事故を減少に協力」の無償の善意です。

4.活動の状況（通常年度）

時期	年間活動内容
4月	春の全国安全運動期間中街頭活動(テント設営)2019年は5月
	支部便り発行(春の交通安全運動・その他)
	運転者安全講習会開催、ハンドルキーパー運動、自転車実技教室
5月	支部役員総会開催
	日野市主催の新撰組まつり警備、交通安全パレード
	支部だより発行(会員向け活動報告書)
6月	日野交通安全協会 代議員総会・理事会
7月	よさこい祭り警備(日野市主催で道路閉鎖して開催)
	長期安全運転者表彰推薦者選考
8月	自治会夏祭典交通整理・警備、秋の全国交通安全運動推進会議
9月	秋の全国交通安全運動期間中街頭活動(テント設営)
	運転者安全講習会開催・ハンドルキーパー運動
	支部だより発行(秋の交通安全運動・その他)
10月	本部研修旅行(日帰りバスツアー)・放置自転車防止キャンペーン
12月	ハンドルキーパー運動・飲酒運転撲滅キャンペーン
1月	次年度長期安全表彰推薦者選考
3月	春の全国交通安全推進会議

〔日本技術士会岐阜支部 会報の情報連絡先〕

〒509-0108 各務原市須衛町1-179-1 テクノプラザ5F
TEL: 0583-79-0580 FAX: 0583-85-4316 Email: gcea9901@ybb.ne.jp

上記以外に緊急で本部からの要請で各種活動を実施する。

その結果、当支部役員の年間累計出勤総数について平成30年は354人でした。

また、日野市の平成30年の人身事故発生件数は392件、死者1名、負傷者441名で、東京都全体の発生件数32,590件、死者143名、負傷者37,443名であり、10万人の人口比では平均以下で、目標の140名を3名超過した結果でした。

活動のメインは春と秋の「全国交通安全運動」で10日間の交差点で交通指導（警察官に似た制服着用、黄色の旗や誘導棒を使用）、日野市、警察主体のイベントの交通指導や地域祭典の交通警備に参加します。

法律的には取り締まりの権限は有りませんので、交通指導と言っても雨の日に傘差し自転車に向かっては「危険ですよ！」「自転車は左側です！」と声を掛ける程度です。

全国交通安全運動は昭和23年から始まり、今年で141回となりました。小生も100回以上参加した事に成ります。

参考ですが平成30年中の全国で交通事故死者数のワースト3は

1位 愛知県（189名）、2位 千葉県（186名）、埼玉県（175名）でしたが、統計的にパラメーターを変えると

人身事故発生件数 1位 愛知県 2位 大阪府 3位 東京都

負傷者数 1位 愛知県 2位 福岡県 3位 大阪府

死者数/10万人 1位 福井県 2位 富山県 3位 三重県

ちなみに平成30年の岐阜県の状況は

交通事故発生件数：4,860件 発生率（100人あたり）：0.57% 10万人あたりの死者数：4.53名でワースト7位、死者数は91名、負傷者数は6,394名でした。

（警察庁統計情報から抜粋）

5.おわりに

交通事故は加害者、被害者双方にとって悲惨な結果を招く事になります。

1件でも交通事故を防ぐため、私が特に心掛けている内容を以下に記述させていただきます。

自動車、バイク、自転車乗車中では一時停止箇所は「停止線で必ず停止する」事です。定点観測をしていると一時停止の標識があるにも関わらず約90%の運転者が徐行はするが「停止」していません。

自動車の場合は一時停止すると体に「かくん」と軽い衝撃が有ります。

バイクや自転車では「必ず地面に足を着地し、左右後方の確認をします」以上を実施するだけでも事故防止の効果はかなり有ると確信して実行しています。

皆様も是非交通事故防止のためぜひ実施してみてくださいはいかがでしょうか。

以上

〔日本技術士会岐阜支部 会報の情報連絡先〕

〒509-0108 各務原市須衛町1-179-1 テクノプラザ5F
TEL：0583-79-0580 FAX：0583-85-4316 Email:gcea9901@ybb.ne.jp